

令和3年度の予算

「くらしを守り、明日へ繋ぐ」予算

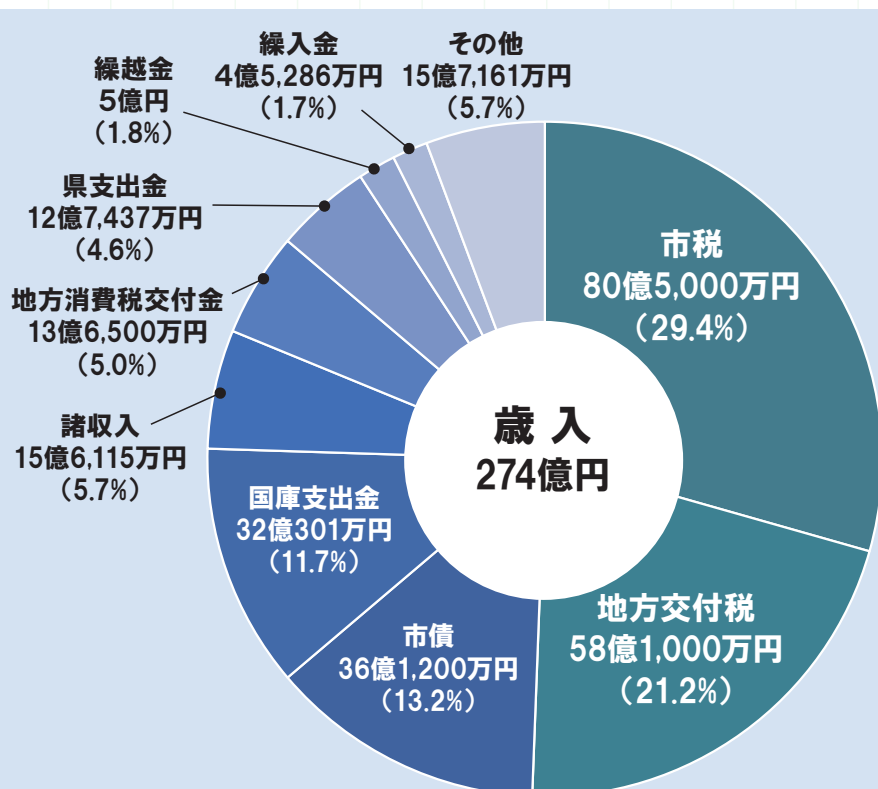
一般会計 274 億円（対前年比19億4,000万円（7.6%）の増）

※公立諏訪東京理科大学交付税相当分を除く実質的な予算

254 億5,400 万円（対前年比18 億円（7.6%）の増）

全会計 418 億6,892 万円（対前年比17 億2,527 万円（4.3%）の増）

※全会計… 一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、国民健康保険診療所特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、財産区特別会計（45 財産区）



令和3年度予算は、新型コロナウイルス感染症からくらしと経済を守るとともに、ポストコロナ時代の新たなまちづくりに取り組み、未来に向かうための「くらしを守り、明日へ繋ぐ予算」を編成しました。一方で、市の財政状況は厳しさを増しており、ここ数年の当初予算編成では基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況が続いています。人口減少、少子高齢化が進む中、持続可能な行財政運営への転換が必要となっています。

そこで令和3年度には、（仮称）行財政改革基本方針を策定し、市民の皆さんとの丁寧な協議を重ねながら行財政改革を推進していきます。

詳細は

わかりやすい予算説明書 茅野市

検索



予算を家計に例えると…



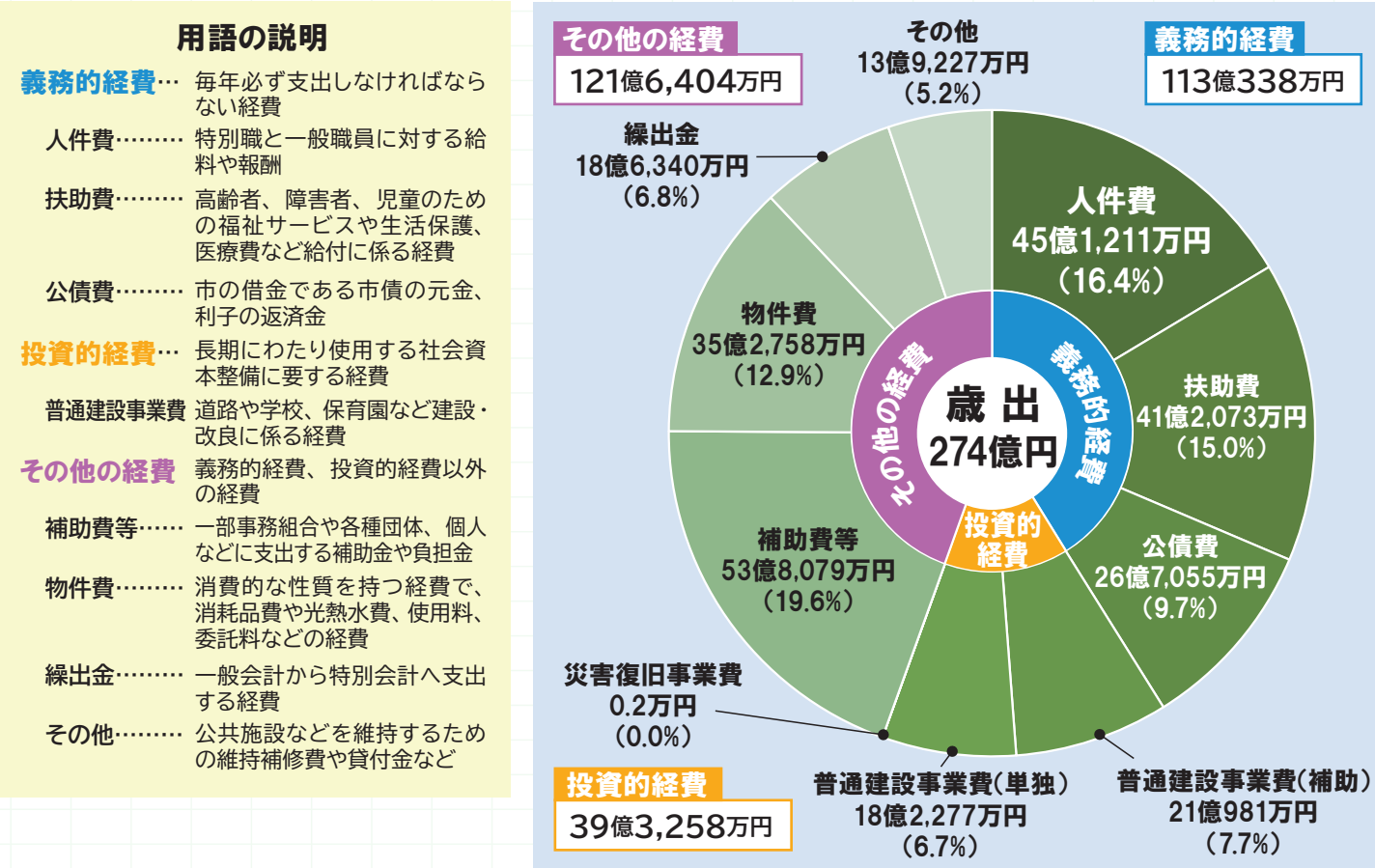
市の予算と家計では、お金の使い道などが違うので、単純には比べられませんが、1か月の収支が30万円の家計に置き換えると、次のようになります。

「収入」	令和3年度	前年度との比較
給与	222,782円	-8,065円
うち基本給(市税)	88,139円	-12,725円
諸手当 (地方交付税、国・県支出金など)	134,643円	4,660円
パート収入(使用料、手数料等)	33,045円	-3,402円
貯金の取り崩し(基金繰入金) (※取り崩し前の貯金残高 39,524円)	4,626円	-1,530円
銀行からの借入(市債)	39,547円	12,997円
計	300,000円	

「支出」	令和3年度	前年度との比較
食費、医療費、光熱水費 (人件費、扶助費、物件費)	133,143円	-5,905円
ローン返済(公債費)	29,240円	-1,086円
家の増改築など(投資的経費)	43,057円	13,260円
家・車の修繕費(維持補修費)	2,543円	-309円
保険料、各種会費など(補助費)	58,914円	-4,254円
子どもへの仕送り(繰出金)	20,402円	-1,762円
貯金(積立金)	758円	-213円
その他の生活費	11,943円	269円
計	300,000円	

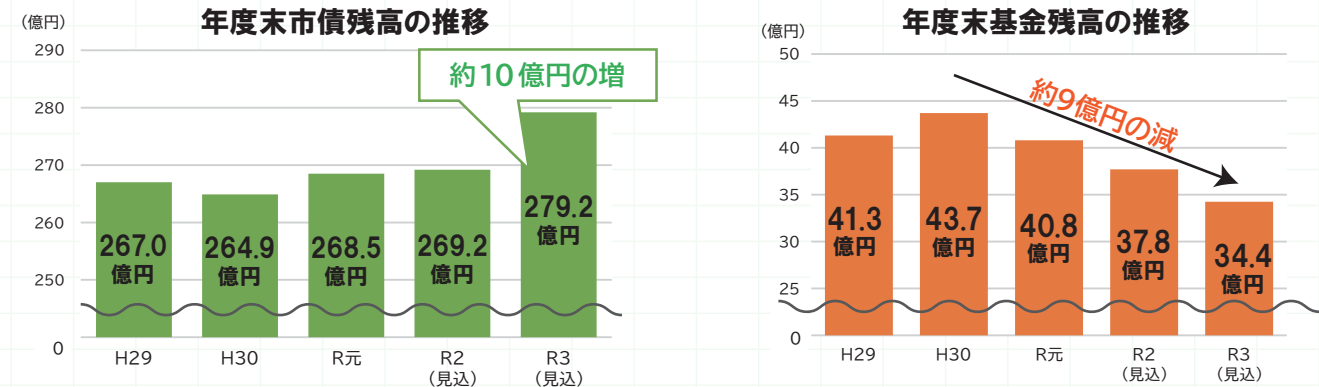
一般会計の予算規模は、過去最大となりました。歳入は、新型コロナウイルス感染症の影響により市税が大幅に減となる見込みで、この減収分については、地方交付税や市債などで補われます。歳入が前年度から大きく増加したのは、国庫支出金や市債を、永明小中学校建設関連事業の財源として計上したことによるものです。

歳出を性質別にみると、永明小中学校建設関連事業に係る経費を約18億円計上したことで普通建設事業費が大きく増加しています。また、歳出の多くを占める補助費等や繰出金は総額で約72億円となり、そのほとんどは一部事務組合や広域連合、特別会計への支出で約61億円にのびります。



一般会計の市債・基金の状況

市債（借金）は、令和3年度から永明小中学校建設関連事業の財源として借り入れをすることなどにより、令和3年度末残高が約10億円増える見込みです。基金（貯金）は、令和元年度から3年連続で財政調整基金を取り崩さざるを得ない状況が続いており、令和3年度末までの3年間で残高が約9億円減の見込みとなっています。今後も一般会計は市債が増え、基金が減る状況にあり、引き続き厳しい行財政運営が続くことが予想されます。



令和3年度の主な施策

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症に係る暮らし・経済対策や、withコロナ時代に対応した「新たな日常」への取り組みを進めます。第2次茅野市地域創生総合戦略に基づき、ポストコロナ時代を見据えて、地方指向を持つ人や企業のニーズを捉えた取り組みを展開し、交流人口・関係人口を増加させ、経済活動を活性化させる仕組みづくりを軌道に乗せていきます。

令和3年度市政の重点テーマ

「新型コロナウイルス感染症に係る暮らし・経済対策」

「永明小中学校と周辺の整備による中心市街地の再構築」

「AI、IoT等の先端技術を活用した便利で暮らしやすいまちづくり」

まいさぼ茅野市の 相談体制充実

事業費 1,228万円

様々な困難の中で生活に困窮している方に包括的な支援を行う、生活就労支援センター（まいさぼ茅野市）の相談体制を充実させます。



新型コロナウイルス ワクチン接種の実施

事業費 2億7,992万円

専用のコールセンターを設置し、市民の皆さんからのお問い合わせ、予約等に対応し、新型コロナウイルスワクチン接種を迅速に実施します。



小中学校ICT教育の 推進

事業費 1億6,612万円

ICT支援員およびGIGAスクールサポーターを増員し、ICT教育サポートセンターを設置。教育の情報化に向けた更なる体制整備を行います。





若者に選ばれる まちの推進

事業費 1,075万円

茅野市からの若者の流出を防ぐとともに、都市部等からの若者の流入促進を図るための具体的な事業を展開し、先端技術を活用した生活の利便性向上に向けた取り組みを推進します。



永明小中学校 周辺整備

事業費 5億1,630万円

国の交付金を活用し、永明小中学校の建て替えに合わせて、周辺道路等を整備します。今年度は、物件補償調査、不動産鑑定、移転補償、道路用地購入などを実施します。



永明小中学校建設

事業費 12億7,671万円

永明小学校と永明中学校を施設一体型として整備する方針で、建替事業を進めています。今年度は、事業用地の購入および建設予定地の埋蔵文化財調査を進め、校舎建設に着手します。



移住・定住促進

事業費 1,100万円

「ちのくらし」の情報発信を中心に、大規模フェアへの出展、移住セミナーの開催、現地見学ツアーの実施および移住体験住宅の運営に取り組めます。



白樺湖地区 街なみ環境整備

事業費 1億576万円

国の交付金等を活用し、白樺湖湖畔周辺の環境整備に取り組んでいます。今年度は、屋外集会施設造成工事を実施します。



第2合葬式墓地 整備と販売開始

事業費 144万円

昨年度から第2合葬式墓地を整備しています。今年度は、建設した合葬式墓地周辺の整備を行った後、合葬式墓地の販売を開始します。



IT関連企業 誘致推進

事業費 100万円

IT関連事業の誘致を積極的に推進するため、首都圏等から事業所移転やサテライトオフィスの設置をしたIT企業に対して、家賃6か月相当額（50万円）を奨励金として交付します。



庁内業務 デジタル化推進

事業費 111万円

情報先端技術を活用して庁内事務の効率化を図り、市民サービスの向上を目指します。



中小企業者等応援金による 事業継続支援

事業費 1億円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、急激に売り上げが減少した中小企業者等への事業継続支援。売上減少額に応じ、5万円から10万円の応援金を支給します。

